第20節 与那国島

第1項 取り組み概要

島内の事業者や観光施設、公民館長と連携し、島の歴史や文化、暮らしを活用したプログラム 造成に取り組んだ。

18 歳以上に絞って受入れを行った結果、沖縄離島体験交流促進事業とは異なるチャレンジに取り組む事ができ、今後の観光振興に向けての様々な効果を得る事ができた。

第2項 造成プログラム一覧

- 1 与那国の植物で染物体験
- 2 どなん島の海人と行くマグロ・シイラ漁体験
- 3 日本一遅いサンセットタイムにフラを踊ろう
- 4 どなん島(チマ)の奇祭マチリと酒(サギ) 堪能ツアー
- 5 交流館で体験する与那国島行事

第3項 実施ツアー一覧

<参加者合計:74名>

プログラム名	出発日	泊数	宿泊形態	定員	参加者数
与那国の植物で染物体験	16/12/09(金)	2泊3日	民宿	8名	12名
子が国の恒初く朱初体歌	17/03/04(土)	1泊2日	民宿	15名	13名
どなん島の海人と行くマグロ・シイラ漁体験	16/11/18(金)	2泊3日	民宿	5名	4名
こなん島の(母人と1)くマクロ・シイノ恐体験	16/12/02(金)	2泊3日	民宿	5名	6名
日本一遅いサンセットタイムにフラを踊ろう	16/11/18(金)	2泊3日	民宿	10名	9名
日本一連バリンピットライムにノノを踊つ)	16/12/16(金)	2泊3日	民宿	10名	9名 8名
どなん島(チマ)の奇祭マチリと 酒(サギ)堪能ツアー	16/12/26(月)	2泊3日	民宿	15名	12名
交流館で体験する与那国島行事	16/11/03(木)	2泊3日	民宿	15名	10名

※表中の()内は助成対象外の内数

第4項 ツアー概要

1. 与那国の植物で染物体験

ツアー紹介文:

与那国島の植物を使って、染色体験を行います。自然に恵まれ天然の染料が数多く存在する与那国 島。ぜひ、あなたのお気に入りの色に染め上げてくださいね。

行程表:

(2泊3日行程)

日	時間	行 程	
	8:00	集合、航空券を受け取り後、荷物預けを済ませる	
	9:40	【結団式】事業説明、諸連絡など	
	7:20	那覇空港 出発	
	10:40	ぱいぬしま石垣空港 到着	
		昼食	
1	12:35	ぱいぬしま石垣空港 出発	
	13:10	与那国島到着、コーディネーターと合流	
	14:30	【オリエンテーション】会場:与那国町複合型公共施設2階	
		【島内一周】	
	16:30	終了	
	19:00	宿泊先にて夕食	
			(宿泊:島内民宿)
	7:00	朝食	
		フリータイム	
2		昼食(各自)	
	16:00	【モニタープログラム】与那国の植物で染物体験	
		終了	
	19:00	【夕食交流会】会場:居酒屋	
		終了	
			(宿泊:島内民宿)
	7:00	朝食	
		フリータイム、夕食(各自)	
	16:00	【振り返りゆんたく会】 会場:与那国町複合型公共施設2階	
3		(意見交換・アンケート記入)	
		終了、アンケート回収	
目		各自搭乗手続き	
	18:40	与那国空港出発	
	19:15	ぱいぬしま石垣空港 到着	
	19:40	ぱいぬしま石垣空港 出発	
	20:45	那覇空港到着、解散	

日	時間	行 程	
	6:15	集合、航空券を受け取り後、荷物預けを済ませる	
	6:30	【結団式】事業説明、諸連絡など	
	7:20	那覇空港より[RAC721 便]にて出発	
	9:00	与那国島到着、コーディネーターと合流	
	9:30	【オリエンテーション】会場:与那国町複合型公共施設 2 階	
	10:00	【島内一周】	
		※時間には限りがございますので、各場所での写真撮影はフリータイムを	
1		ご利用いただきますようにお願いします	
	11:30	終了	
		昼食	
	14:00	【モニタープログラム】与那国の植物で染物体験 会場:徳美工房	
	16:00	終了	
		フリータイム	
	19:00	【夕食交流会】	
			(宿泊:島内民宿)
		朝食	
	9:30	【振り返りゆんたく会】 会場:与那国町複合型公共施設2階	
2 日		(意見交換・アンケート記入)	
	10:30	終了、アンケート回収	
目		各自搭乗手続き	
	11:50	与那国空港より [RAC724 便] にて出発	
	13:10	那覇空港到着、解散	

実施写真:





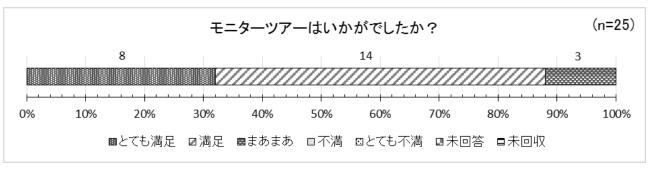


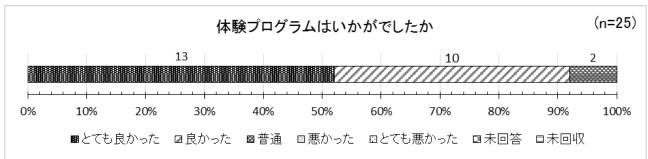
■成果

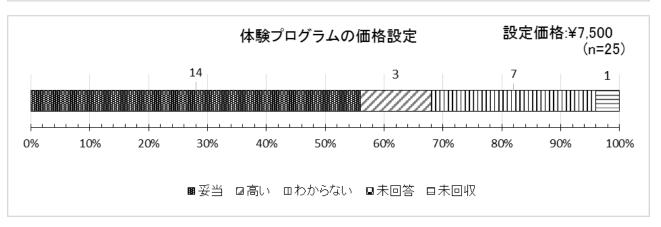
・染色作業自体の満足度は高かった。島のお土産として持って帰る事ができる事も好評だった。

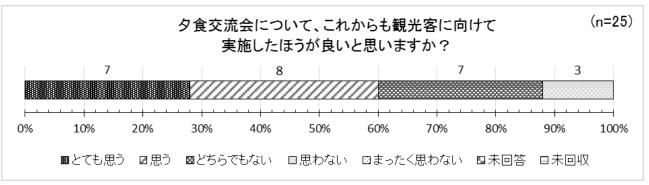
■課題

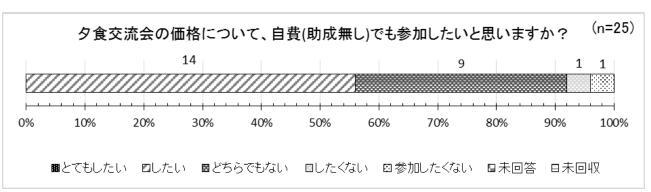
・体験に入る前に行程全体の説明や各作業を意味づける説明をする事で、参加者の満足度を高める事ができる。

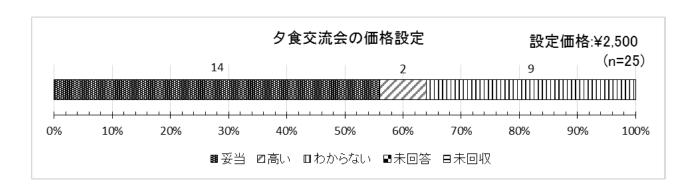












2. どなん島の海人と行くマグロ・シイラ漁体験

ツアー紹介文:

日本最西端、与那国島の海人と交流できるプログラム。釣り開始は、漁師の帰港後の夕方から。与那 国島近海のパヤオでの本格的な釣り体験ができます。釣れた魚は漁協内食堂にて調理後みんなで夕 食としていただきます。

行程表:

日	時間	行 程	
	6:15	集合、航空券を受け取り後、荷物預けを済ませる	
	6:30	【結団式】事業説明、諸連絡など	
	7:20	那覇空港 出発	
	8:15	ぱいぬしま石垣空港 到着	
	10:30	ぱいぬしま石垣空港 出発	
1 日	11:05	与那国島到着、コーディネーターと合流	
	13:10	昼食	
	14:30	【オリエンテーション】会場:与那国町複合型公共施設 2 階	
		【島内一周】	
	16:30	終了	
	19:00	宿泊先にて夕食	
		終了	(宿泊:島内民宿)
	7:00	朝食	
		フリータイム	
2		昼食(各自)	
日日	16:00	【モニタープログラム】どなん島の海人といくマグロ・シイラ漁体験	
目		終了	
	19:00	【夕食交流会】会場:居酒屋	
		終了	(宿泊:島内民宿)
		朝食	
		フリータイム、夕食(各自)	
	16:00	【振り返りゆんたく会】 会場:与那国町複合型公共施設2階	
3		(意見交換・アンケート記入)	
		終了、アンケート回収	
		各自搭乗手続き	
	18:40	与那国空港 出発	
	19:15	ぱいぬしま石垣空港 到着	
	19:40	ぱいぬしま石垣空港 出発	
	20:45	那覇空港到着、解散	



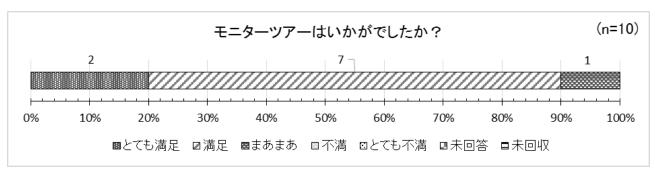


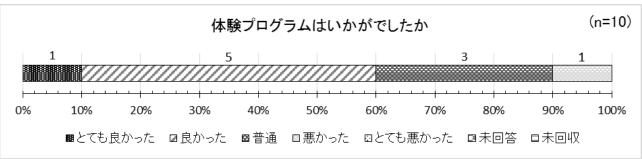


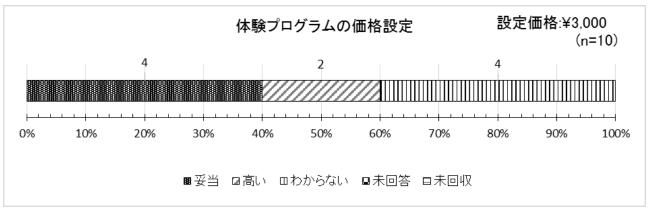
・今後発売予定プログラムのプレ実施ができ、課題を事前に洗い出す事ができた。

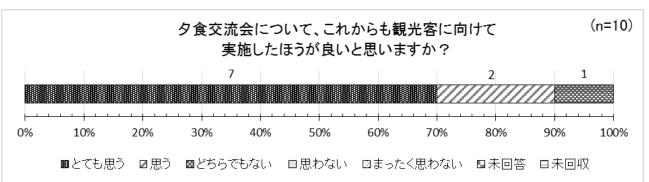
■課題

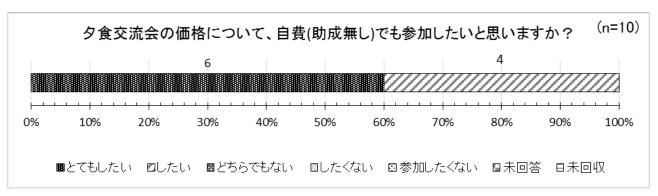
・海や天気の状況によって釣果が左右されるため、釣り体験と他の体験を準備する事で参加者の 一定の満足度を維持する事ができるのではないか。

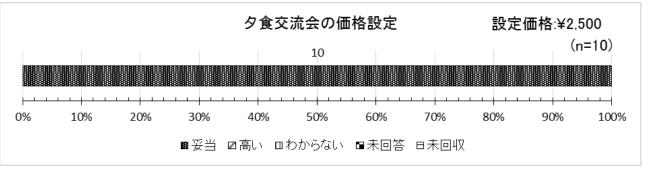












3. 日本一遅いサンセットタイムにフラを踊ろう

ツアー紹介文:

日本で一番遅いサンセットタイムを迎える与那国島。ゆったりとした時の中でフラダンスを踊ると、身も心もフラの感情で満たされ、最高の癒しの時間となることでしょう。

行程表:

日	時間	行 程	
	8:00	集合、航空券を受け取り後、荷物預けを済ませる	
	8:15	【結団式】事業説明、諸連絡など	
	9:40	那覇空港 出発	
	10:40	ぱいぬしま石垣空港 到着	
		昼食(各自)	
1 日	12:35	ぱいぬしま石垣空港 出発	
	13:10	与那国島到着、コーディネーターと合流	
	14:30	【オリエンテーション】会場:与那国町複合型公共施設 2 階	
		【島内一周】	
	16:30	終了	
	19:00	宿泊先にて夕食	
		終了	(宿泊:島内民宿)
	7:00	朝食	
		フリータイム	
2		昼食(各自)	
日	16:00	【モニタープログラム】日本一遅いサンセットタイムにフラを踊ろう	
目	18:00	終了	
	19:00	【夕食交流会】会場:居酒屋	
		終了	(宿泊:島内民宿)
	7:00	朝食	
		フリータイム、夕食(各自)	
	16:00	【振り返りゆんたく会】 会場:与那国町複合型公共施設2階	
2		(意見交換・アンケート記入)	
3 日	17:00	終了、アンケート回収	
		空港へ移動	
	18:40	与那国空港 出発	
	19:15	ぱいぬしま石垣空港 到着	
	19:40	ぱいぬしま石垣空港 出発	
	20:45	那覇空港到着、解散	



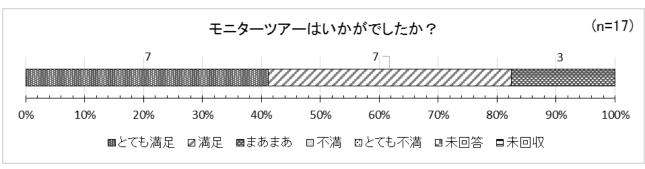


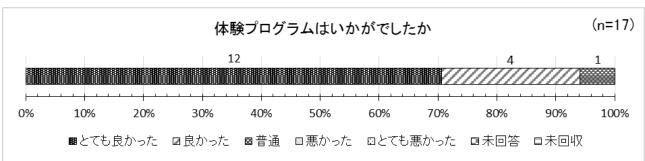


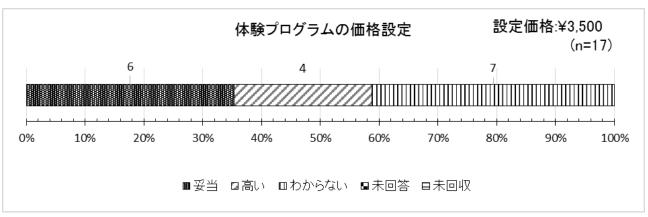
- ・初心者でも楽しめるプログラムとなり、全体的な満足度は高かった。
- ・新しいガイドの発掘に繋がった。

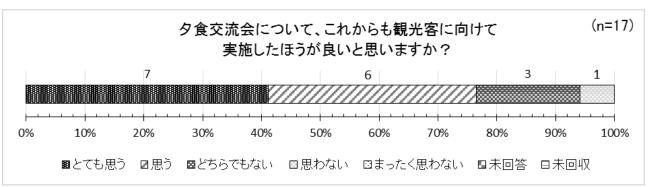
■課題

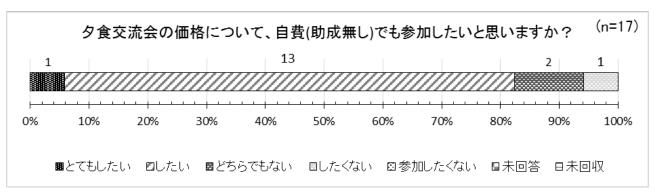
- ・雨天時の対応を検討する必要がある。
- ・付加価値をより高めるための準備やプログラム構成を再検討する事で、魅力的な体験プログラムとなる。

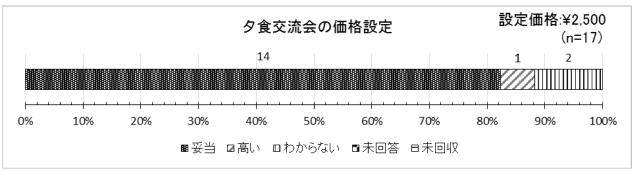












4. どなん島(チマ)の奇祭マチリと酒(サギ)堪能ツアー

ツアー紹介文:

神事関係者は祭祀がとり行われる旧暦 10 月以後庚申の日から 25 日間は四足肉食(牛・豚)禁止という祭祀。地元ガイドの案内付きで祭りに参加することができます。また、祭りにはかかせないお酒も堪能できます。

行程表:

日	時間	行 程	
	6:15	集合、航空券を受け取り後、荷物預けを済ませる	
	6:30	【結団式】事業説明、諸連絡など	
	7:20	那覇空港 出発	
	8:15	ぱいぬしま石垣空港 到着	
	10:30	ぱいぬしま石垣空港 出発	
1	11:05	与那国島到着、コーディネーターと合流	
	12:00	昼食	
	14:30	【オリエンテーション】会場:与那国町複合型公共施設2階	
		【島内一周】	
	16:30	終了	
	19:00	宿泊先にて夕食	
		終了	(宿泊:島内民宿)
	7:00	朝食	
		フリータイム	
2		昼食(各自)	
日	14:00	【モニタープログラム】どなん島(チマ)の奇祭マチリと酒(サギ)堪能ツア	'
目	16:00	フリータイム	
	19:00	【夕食交流会】会場:居酒屋	
		終了	(宿泊:島内民宿)
	7:00	朝食・その後フリータイム、	
	11:00	【振り返りゆんたく会】 会場:与那国町複合型公共施設2階	
		(意見交換・アンケート記入)	
3	12:00	終了、アンケート回収	
」 日		フリータイム、昼食	
		各自搭乗手続き	
	18:40	与那国空港 出発	
	19:15	ぱいぬしま石垣空港 到着	
	19:40	ぱいぬしま石垣空港 出発	
	20:45	那覇空港到着、解散	



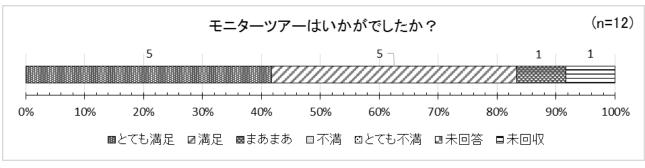


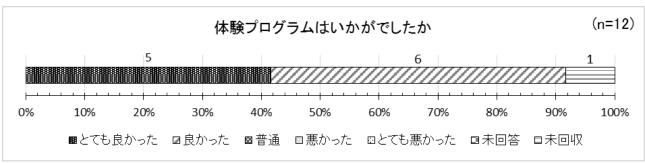


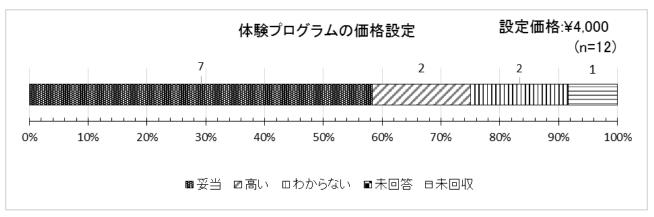
・一般のツアーでは参加が難しい祭祀に参加できた事に対して満足度が高かった。商品化への可能性を確認する事ができた。

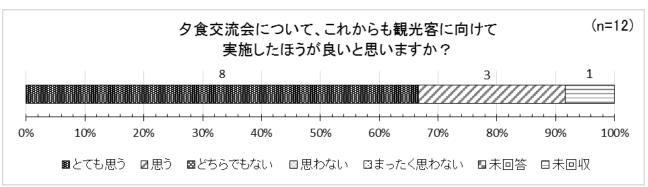
■課題

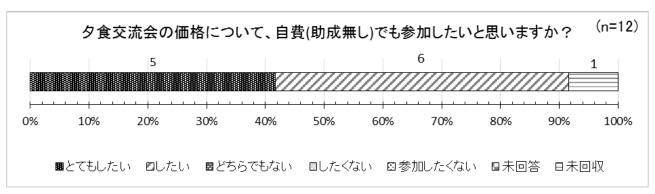
- ・説明内容や説明方法、事前準備や段取りが不足している部分があった。
- ・本格的に商品化に取り組むためには、外部の人が参加する事に対して島の人達の理解を促す事 も必要かと考える。

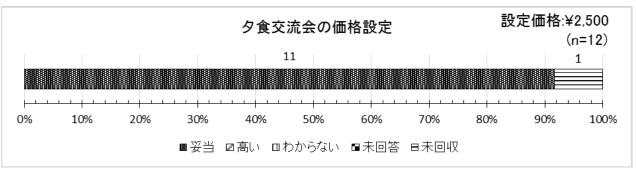












5. 交流館で体験する与那国島行事

ツアー紹介文:

与那国島の概要説明や民具づくり、与那国料理づくりなど様々な体験を通じて、与那国島の行事を 体感する事ができます。 奥深い与那国の文化に興味がある人にオススメです。

行程表:

日	時間	行 程	
	6:25	集合、航空券を受け取り後、荷物預けを済ませる	
	6:40	【結団式】事業説明、諸連絡など	
	7:15	那覇空港 出発	
	8:15	ぱいぬしま石垣空港 到着	
	10:30	ぱいぬしま石垣空港 出発	
	11:05	与那国島到着、コーディネーターと合流	
日目		昼食(各自)	
	14:30	【オリエンテーション】会場:与那国町複合型公共施設2階	
		【島内一周】	
	16:30	終了	
	19:00	宿泊先にて夕食	
			(宿泊:島内民宿)
	7:00	朝食	
		フリータイム	
1		昼食(各自)	
2 日	14:00	【モニタープログラム】与那国島 交流館で体験する与那国島行事	
	16:00	終了	
	19:00	【夕食交流会】会場:居酒屋	
		終了	
			(宿泊:島内民宿)
	7:00	朝食	
		フリータイム、夕食(各自)	
	16:00	【振り返りゆんたく会】 会場:与那国町複合型公共施設2階	
3		(意見交換・アンケート記入)	
」 日		終了、アンケート回収	
		各自搭乗手続き	
	18:40	与那国空港 出発	
	19:15	ぱいぬしま石垣空港 到着	
	19:40	ぱいぬしま石垣空港 出発	
	20:45	那覇空港到着、解散	



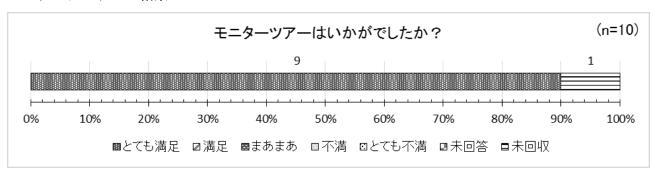


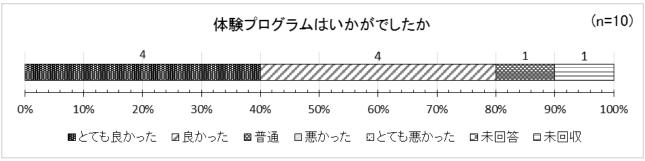


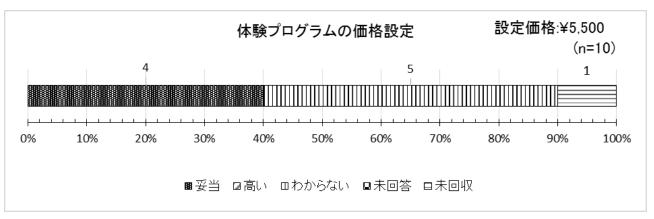
・新しく開館した施設を活用し、プログラムガイドの実践の場をつくる事ができた。

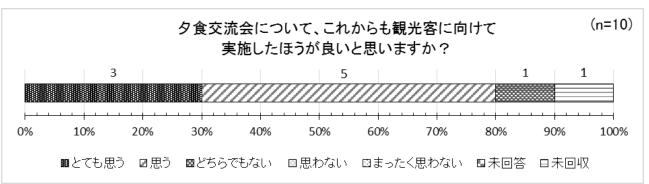
■課題

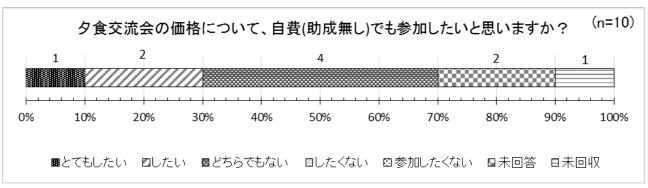
・体験部分を増やす事や行事の説明や料理レシピなどが掲載されたプログラムパンフレットを作成する事で、満足度をより高める事ができるのではないか。

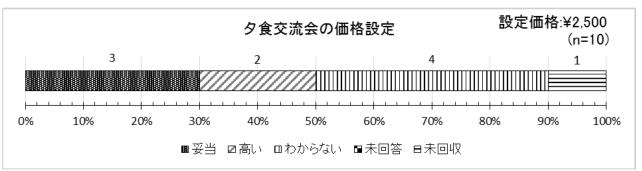




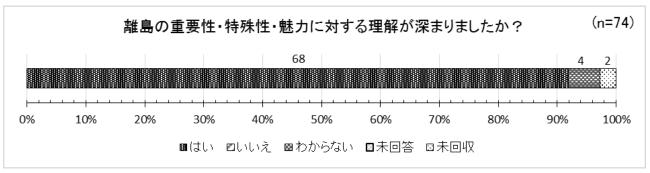


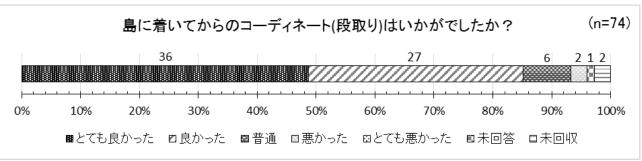


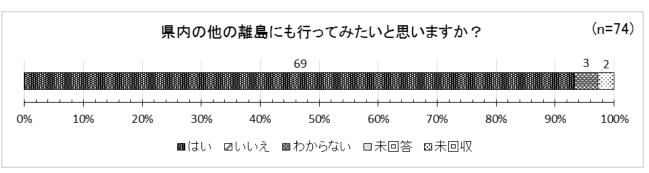


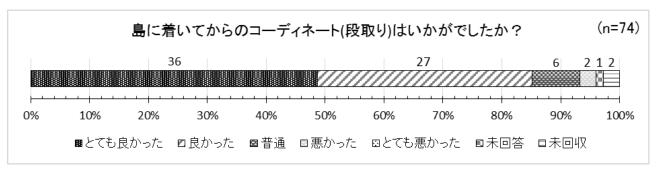


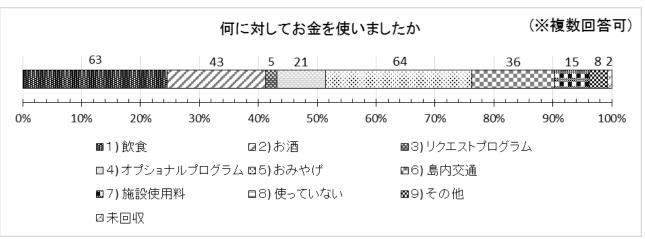
第5項 島に関するアンケート結果

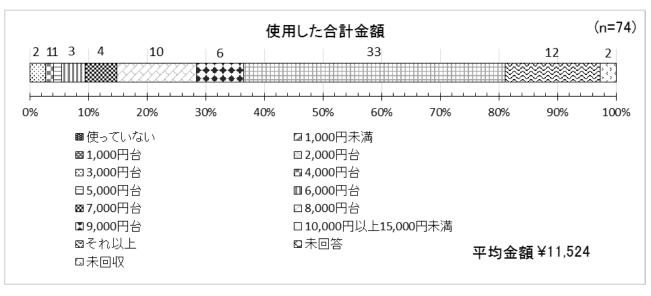












第6項 島の声

- ・既存事業者のオプションプログラムの紹介や島内観光時の酒造所案内、比較的予約状況に余裕 がある宿泊施設の活用に取り組み、経済効果をつくる事を意識して取り組んだ。
- ・受入回数を重ねるにつれ、交通業者や観光事業者への手配もスムーズになり、島内事業者との連携を深める事ができた。
- ・プログラムの満足度を高める取り組みが必要。次年度は事前の打ち合わせ等を通してプログラム実施者の意識づくりに取り組む予定。
- ・事業についての島内の認知は当初よりも徐々に広がってはいるが十分ではない状況。次年度は 島の多くの人に事業を知ってもらえる取り組みが必要と考えている。
- ・夕食提供のない宿泊施設が多いため、「二食付き」の宿の手配が難しかった。
- ・観光協会職員1名のみでコーディネーターを担っているため、他の業務との両立もあり負担が大きいと感じる部分があった。

第7項 参加者の声

- ・観光を誘致するコンテンツがたくさんあると思った。受入体制がもっと強化できれば、観光客を もっと増やせると思う。
- ・夕食交流会を飲食店などで行うのはありきたりな感じがするのですが、今回は島の海人の家で 仕事・文化・生活・食といろいろな話ができ、与那国島の本当の姿が見る事ができた気がした。
- ・お勧めのモデルコースを設定すると島を周りやすくなると思う。
- ・プログラムの説明文やレシピなどが掲載されているパンフレットがあればいいな、と思います。
- ・建物が古いのは仕方がないとして、施設内の清潔感が保たれるともっと気持ちよく過ごせると 思います。特産の長命草料理を民宿でも提供すると関心が高まると思います。

第8項 成果

コーディネーターが「島内の経済づくり」に意欲的に取り組んだ結果、モニターの酒造所での買い物やオプショナルプログラムの申込みなど既存事業者の巻き込みに繋がり、島内の連携強化に取り組む事ができた。次年度は事業開始前に観光協会員向けの説明会を実施する予定であるため、事業への参画がより促される事で島内連携がより強化され、成果を高める事が期待できる。

本年度はガイドの発掘を通して4つのプログラム造成を行った。次年度以降もガイドのスキルアップとプログラムのブラッシュアップに取り組む事でプログラムの商品化に繋がり、今後の一般観光客受け入れの際の経済効果の拡大の仕組みをつくる事ができる。

第9項 課題

モニターとコーディネーター双方からあがった夕食交流会の実施や島の人達の参画についての 課題は、プログラムやガイドとの連携、島内での事業認知を広げる事で解決できる可能性がある。

今後の一般観光客受け入れに向けてプログラムや宿泊施設の質の向上に繋げるため、モニターからのフィードバックを共有するための場づくりや、今後の事業への取り組む機運を高める事も必要かと考える。